



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減し、
社会経済の壊滅的な被害を回避するため

堤防をつくり、流せる 水の量を増やしました

地元の声

- ・ 溢れた水が家のそばまでみるみる迫ってきて怖い (地元住民)
- ・ 浸水被害が出ないように早く堤防をつくって欲しい (学校関係者、地元企業)

事業前

- ◆ 堤防がない又は低いため、大雨の時は洪水により家屋が浸水するおそれがありました。



平成27年台風18号

事業前の状況

事業後

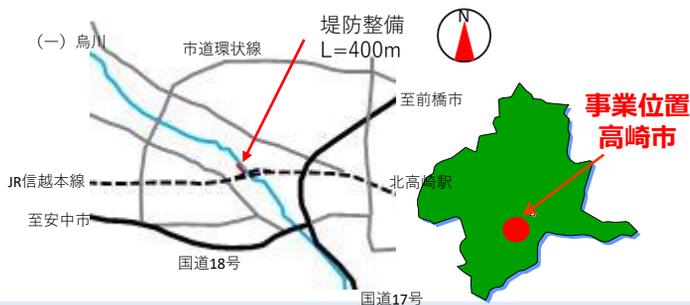
- ◆ 堤防をつくることにより、流せる水の量を増やし、河川の氾濫による被害のリスクを軽減しました。



事業後の状況

事業の概要

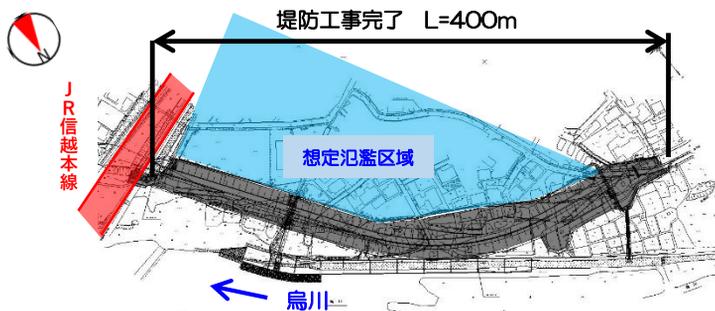
- 事業箇所：高崎市中豊岡町
- 事業内容：堤防整備 延長 400m
- 事業期間：平成24年度～令和3年度



事業の進捗状況 (令和3年度完了)

今、何をしているか

令和3年度に堤防工事が完了し、河川の氾濫による被害のリスクを軽減しました



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了